

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	わくわく音楽会実行委員会		
所在地	兵庫県宝塚市	設立年	2020/4/1
運営主体	兵庫県三田市や近郊に在住のプロアーティスト。 及び三田少年少女合唱団、宝塚少年少女合唱団。		
事業目標	子どもたちが身近な地域で学校の合唱活動に代わり得る継続的で質の高い音楽活動の機会を確保できるように、新たな課外活動の場「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」及び「兵庫青少年の歌声倶楽部」を創設する。		
きっかけ	コロナ禍に入り、特に新卒のプロアーティストが本来活動する演奏の場を失って生計を立てる事ができないまま多くのアーティストがその道を諦めていく現状を見、支援目的で若いアーティストにスポットをあてた演奏会を実施したこと。 一方で、コロナ禍で学校での合唱環境が激減する事を受けて、子どもたちへの質的合唱活動となる演奏会の場を創る必要性が高まったと考えたため。		
団体・組織等の連携	開催地の三田市、三田市総合文化センター郷の音ホール登録アーティスト 各地域の教育委員会、地域のプロ奏者、地域のラジオ放送		
活動場所	三田市総合文化センター郷の音ホール 三田市、宝塚市、神戸市、西宮市、の各市民センター・公民館		
活動概要	わくわく音楽会実行委員会は地域のプロアーティストを発掘し、演奏及び鑑賞機会を設けて演者の周知に務め、生計の一助とし、地域の文化啓蒙に貢献する。また、地域の子ども達への音楽教育の場となる演奏環境を企画し、プロアーティストと音楽を学ぶ子ども達をつなぎ、人材育成の場を提供する事を活動とする。 今回の事業では、幼児～小学4年生対象の「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」、小学5年生～高校生対象の「兵庫青少年の歌声倶楽部」を設置して120名を募集し、年間10～16回の合唱指導を地域の児童合唱指導者が行い、2023年1月15日(日)に三田市総合文化センター郷の音ホール大ホールにて発表会を実施。小さいこども達は童謡や唱歌などを、青少年はミサなどの合唱作品を、地域のプロ奏者で創るオーケストラと共演し、プロ音楽家の演奏を鑑賞した。		

○本事業による成果

「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」の目標募集数の120名の内最終94名が参加し、78%に達成した。「兵庫青少年の歌声倶楽部」の目標募集数の30名の内最終23名が参加し、76%に達成した。(中間報告から数字が減少したのは、コロナやインフルエンザなどで欠席が相次いだため)

今回の事業はコロナ禍で学校現場では従来通りに活動できていない「合唱」を目的とし、音楽の授業や部活動で活動できなかった「合唱」を課外活動で実施した点で学校の役割を補填した事は、教員の負担軽減に寄与したと考える。

アンケートでは上記の事について「学校で歌えなかった分、たくさん歌うことができてよかった。」「学校では音楽会も歌えなかったが、おおきなホールで声を出す事ができてよかった」などの声があったことや、部活動については「合唱部がないので、大きな経験をさせていただいて有難かった」「オーケストラの方々と演奏することなんてめったにないから良かった」「戴冠ミサの暗譜は大変だったけど、本番はたくさんの演奏家の音楽に支えられて歌う事ができてよかった。感動した」など、回答を得る事ができた。質的な活動を行った点において、部活動に代わり得ると事業であったと考える。

また週1度の練習頻度は、放課後の生活多様化に伴って、他の部活動や塾などと平行できる無理のない時間量であるため、生徒と指導者の両者にとって持続可能な適切な頻度であったと考える。

○児童・生徒への指導に関する工夫

「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」においては、歌うことが楽しく、仲間と一緒に活動することの喜びを得る事ができるように、「兵庫青少年の歌声倶楽部」では学校では実施しない質の高い作品に取り組み、オーケストラとの共演などの体験を込めて、充実した活動に参加できた喜びを感じる事ができるように指導を心がけた。実施後は指導者による指導研修を行って技術的な内容、子ども達の精神支援について検討協議を行い指導に還元した。

発表会の内容の他に、季節の唱歌や、楽器の演奏、講師による演奏など、周知知識の指導も行った。

○運営上の工夫

指導のあり方は、実施する児童合唱の指導者や実演家(声楽家)による研修や勉強会を実施し、改善を目指した。

参加者へは、対象学年が参加しやすい時間(低学年は週末の午前中、青少年は週末の夕方)を実施時間とした。

募集方法は対象生徒の幼・保・学校へ募集チラシを全校配布し、チラシは全学年クラス分けした上で各教育委員会へ配布依頼した。

各地域での練習時間には、地域の児童合唱団の保護者の方々や合唱団のOBOGが連携し円滑に参加者を案内した。

合唱団の団長や役員の方々がコーディネーターの役割を担い、連絡や用具調達、運搬、保管についても役割を担った。

普段から地域の児童合唱活動を営む陣営によって実施したため、関係者にとって無理のない仕組みを構築した。

事業の性質上ICTは連絡使用のみに留め、指導は対面活動に拘った。

○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所や指導者は、地域の児童合唱団が事業を実施する形となれば安定して継続する事が可能。発表会については、大きなホールではなく、コミュニティホールサイズであれば参加費、入場料収益で十分に実施する事が可能。

自治体・民間企業・行政・文化芸術団体との連携は、この度の事業を結果として示して認知し、今後協力を交渉していくことで連携を産み出していく事が可能。

参加費や入場料の徴収については概ね理解を得ており、地域の児童合唱団が実施する事で減免措置のある施設を利用する事も可能。

青少年の歌声倶楽部における共演者は、指定管理のホールアーティスト登録バンクを今後活用する事も可能。

イベント保険については、大きな事故は可能性が低いが加入しておいた方が安全と考える。

教育期間との連携はもっとも課題。事業の性質上、募集の段階で子ども達に直接を入れることが効果的で、この点はICTなどの情報網は非効率的であった。そのため、継続していくためには募集チラシを全校配布することが必須だが、その業務については現段階では教員の手を借りる他がない。

この点で、協力的な教委育委員会(宝塚市・三田市)は募集チラシの配布を快く引き受けて、市内の学校へ潤滑に情報を届けてくださったお陰で生徒を集める事ができた。

一方、非協力的であった教育委員会(西宮市・神戸市)は、〈教員の負担軽減〉を理由に募集チラシを受け取らない対応を示し、運営側が直接対象地域の学校長へ直接に配布依頼交渉を実施する非効率を起こした。

神戸市にいたっては、その上でも学校内の生徒に配布しない学校が半数を締め、募集に難を生じた。

教員の負担軽減のために行う事業(本事業)が、教員の負担軽減のための政策(募集チラシを受け取らない)のために、地域移行が実施できないという矛盾が起きていることが課題であると考ええる。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」については、幼児～小学4年生を対象に募集し、地域の児童合唱指導者による合唱指導を3～4回設け、指導期間に入るまでに指導者研修を行う。

1学期中に地域の小学校・保育園・小学校へ募集チラシを全校配布して生徒募集し、練習は地域児童合唱団の練習内で実施する。

発表会を地域児童合唱団の子ども達と一緒に発表会を実施し、その後合唱の修学を目指す子ども達へ、地域の児童合唱団を紹介する事で、クラブ活動で実施する合唱教育を、地域へ現場を移行していく。

「兵庫青少年の歌声倶楽部」については、小学5年生～高校生を対象に募集し、地域の児童合唱指導者による合唱指導を10回程度設け、指導期間に入るまでに指導者研修を行う。

1学期中に地域の小学校・中学校・高校へ募集チラシを全校配布し、練習は地域児童合唱団の練習内で実施する。

発表会を地域児童合唱団の子ども達と、地域の実演家(演奏家)との合同演奏を発表会として実施し、その後合唱の修学を目指す子ども達へ、地域の児童合唱団を紹介する事で、部活動で実施する合唱教育を、地域へ現場を移行していく。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	兵庫小さなこどもの歌声倶楽部(年長～小4まで、30名) 兵庫青少年の歌声倶楽部(小5～高校生まで、30名)
	学校名	三田市、宝塚市、神戸市北区、西宮市山口町の市立小学校 三田市、神戸市北区、西宮市山口町の市立中学校
	募集方法	対象地域における学校へ、募集チラシを全校全児童配布
指導者	人数等	地域の児童合唱団の指導者、及び地域の声楽家、ピアニスト、計6名
	募集方法	各地域の児童合唱団、声楽家、ピアニストへ個人交渉
参加者の移動手段		各家庭の自車送迎、電車、徒歩
活動費用	指導者謝金等	文化庁実施の手引きに従って賃金、交通費を発生
	その他	募集チラシ、発表会、などのチラシ作成に係る印刷、デザイン、広告料。 練習会場の貸借料。 楽譜、発送、連絡などの通信料。 その他、消耗費。
活動財源	会費	「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」は参加家族による発表会入場料チケットによる徴収 「兵庫青少年の歌声倶楽部」は参加者から参加費を徴収及び、観衆からの入場料収入
	その他	
スケジュール	基本活動	「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」は土曜日の午前10:00-12:00に実施。 「兵庫青少年の歌声倶楽部」は土曜日の午後15:00-17:00に実施。
	年間	「兵庫小さなこどもの歌声倶楽部」は春に募集して夏に発表会を実施、及び冬に募集し春に発表会実施。練習は年間4回×会場数×発表会数を実施する。 「兵庫青少年の歌声倶楽部」は、春夏に募集して、秋冬にかけてに実施。練習は年間10回実施。
保険加入等		イベント保険の加入を検討

【活動の様子（写真添付）】

・兵庫小さなこどもの歌声倶楽部発表会の様子



・兵庫青少年の歌声倶楽部発表会の様子

